

授業概要（シラバス）

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	MS502	分類	講義科目
授業科目名	婚礼衣装	英文授業科目名	Wedding Costume Fundamentals
年度	2023年度	年次	夜間部 1年 プライダル科
開講学期	前期	授業の方法	講義
単位数	1単位	年間授業時間数	19.6時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	14コマ
担当教員名	山本 浩子	実務経験あり	
経歴	ブライダルコーディネーターとしてレストラン、専門式場にて勤務。その後、新規店の立上げやスタッフの教育を行ない、館長、副支配人として式場の運営を行う。2010年 BIA主催『The Master of Bridal Coordinatorコンテスト』優勝。1級ブライダルコーディネーター技能士。		

■授業・科目情報

学習目標	ブライダルの仕事をする上では衣装の知識が必須であるため、婚礼衣装についてのアドバイスに必要な知識を学び、新郎新婦や親族にアドバイスができるようになる。到達目標は以下の通り。 (1)基礎的な知識を身に付け、新郎新婦にアドバイスができる。 (2)挙式、披露宴、フォトウエディングなど様々な状況にあった衣装を提案できる。 (3)親族のからの衣装についての質問に答えられることができる。		
教科書	「ブライダルの装美と演出」財団法人日本ホテル教育センター「フォーマルウェア・ルールブック」一般社団法人日本フォーマル協会		
授業計画	回数	内容	
	1	オリエンテーション 授業の進め方と授業計画を確認する。	
	2	衣装選択の基準、新婦洋装衣装の概要①(シルエット、各パーツのデザインの組み合わせ方による印象の違い)	
	3	新婦委洋装衣装概要(新婦洋装の小物、着用シーンに応じたアドバイス)	
	4	新婦和装の種類	
	5	新婦和装の小物一式	
	6	新婦衣装の総まとめ。	
	7	新郎洋装衣装の概要	
	8	新郎和装衣装の概要	
	9	列席者が着用する衣装の種類、特徴、選び方	
	10	衣装試着	
	11	衣装の入手方法、そのメリットデメリット	
	12	インショップと路面店	
	13	プレゼンテーション	
	14	試験	
授業の進め方	オンラインでの授業が主体となるため、パワーポイントを使用して授業進行を行なうが、参加型の授業にするためグループワークも実施する。試着の授業ではロールプレイングを行い、ドレスコーディネーター役と花嫁役を演じてもらう。		
試験の実施方法	前期1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%(10ポイント) ②出席率＝50%(10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評定とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目	『ブライダル総論1』『ブライダル総論2』『ブライダルマーケティング&セールス』『ブライダルマネジメント』		
参考書			
学生へのメッセージ			

以上